

SKI NORTHWEST

●これでゲレンデの規模が判断できるはずだ

この線がリフト	全長	標高差
(A)ブルー・チェアリフト	1,006m	259m
(B)グリーン・チェアリフト1	1,847m	424m
(C)グリーン・チェアリフト2	1,850m	426m
(D)オレンジ・チェアリフト	1,153m	385m
(E)レッド・チェアリフト	2,318m	533m
(F)Tバー1	792m	232m
(G)Tバー2	732m	210m
(H)ゴンドラ・リフト	2,124m	643m
(I)オリブ・チェアリフト	1,984m	649m

↓ヘリコプターから見ました

右の地図はウィスラー・マウンテン・スキー場のゲレンデ施設、リフト、コースなどを示したものです。A～Iはリフト、数字はコースで、その数字を囲っている●●●は、それぞれ●が初心者用、■が中級者用、◆が上級者用という意味をもっています。

ゲレンデ周囲の点線はウィスラー・マウンテン・スキー場の管轄境界を示すもので、この点線を越えた所で遭難してもいっさいスキー場は関知しないということ。罫の区域は閉鎖地区、滑れる状態の場所ではありません。



ち



あ
↑Tバーはなぜかいつもすいています



い
↑終点ははるか彼方、700m以上もあるのだ



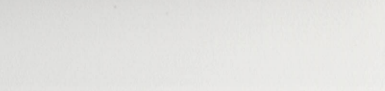
う
↑ラウンドハウス、つまり食堂であります



え
↑食堂のまわりは天気がよいとカフェテラスになっちゃいます。リフトの終点は下り坂です、日本と違います。↓コースのスタート付近から矢印方向を見れば……ハイ、ごらんのとおりです



か
↑あのカラマー先生がブツ飛んでいった、という話ゆえこの名前



一番短いリフトでも1000m、長いになると2318mもあるんだ。

バンクーバーから北へ120km車で2時間ほど走ったところにウィスラー・マウンテンがある。カナダ、ブリティッシュコロンビア州のスキー場の中では最も規模が大きく、自然環境とゲレンデ施設の調和のよさの点でもトップクラスに入るといわれている。

まず驚くのがそのコースの長さ。上から下まで、うまくコースを選べば約10kmのノンストップ・ランが可能で、その標高差は約1000m。もちろんヘリコプター・スキーに参加すれば、その規模はもっとも広がってしまう。

リフトは6本、もちろん全部ダブルチェア。ゴンドラが1本、Tバーが2本。これが機動力のすべてだけれど、ひとつひとつの長さがけだ違い。Tバーなんか2本とも700m以上だし、ゴンドラより長い2000mクラスのリフトもあるんだから驚いてしまう。これだけのビッグリフトだからホテルやロッジなんかはどっさり、と思うだろうけど、これが大間違い。バンクーバーから車で2時間、遠い距離だからスキー場真つ盛りでも日帰りのスキーヤーが半分くらい。金持ち連中はスキー場

周辺にキャビン建て、そこでナンビリと過すわけ。ホテルやロッジなどは10軒ぐらいしかない。日本だったら信じられないことだけれど、その理由の2つ目としてこのウィスラー周辺の土地をスキー会社が管理していて、そうやすやすとホテルなど建てさせてくれない、というのがある。もちろん自然保護、環境保全という意味からだ。

↓数少ないロッジ、レストランとスキー場とを連絡するバス、大便利

↓アイスバーンにはブルドーザーでなくては勝てません



↑ここらは金持ちロッジばかり、で彼らはXCスキーでんびりお散歩。↑今日も一日ごころーさん。↓ようこそ、です



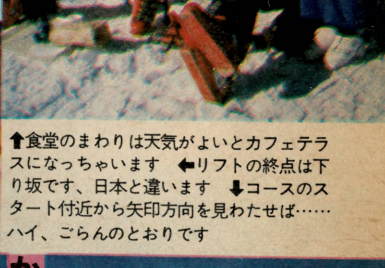
↑レストランのカフェテラスは大賑わい。ドビーカンだもの、室内にいないなんてもったいない。↑ハイ、この人に生命を救ってしまいます



↑上下手は関係なく、このスキー場はブツ飛び小僧だらけ。見通しのいい場所になるとすぐコレだ。↓リフトの向うにゴンドラ、そしてその下のコースは上級者用コース砂というわけで実はガチガチ・ツルツルのバーンです



↓あのカラマー先生がブツ飛んでいった、という話ゆえこの名前



↑あのカラマー先生がブツ飛んでいった、という話ゆえこの名前

